

広報

たっGo

2024

令和6年 5 月号

町内各地で

入学式

各種計画策定

第202号

議会だより

西郷小浜公園オープン



大勝 小学校

あせち めい	あたり たくる	いいだ さゆり	いでさこ ゆい
おかやま わこ	きくち めい	くぼ せな	くぼ ひな
くぼ ひまわり	さかえ せな	さと かなた	しげのぶ まつり
たいらいよ	たばた はると	とうだ たいせい	どうぞの ゆきなが
なかやま こうせい	ながた はな	なんり まさき	はまさき はる
まえだ あいのすけ	ますだ こてつ	まつおか けんた	まつおか ひなみ
もりやま あずさ	やまだ こたろう	やまだ ゆり	わだ かすみ

戸口 小学校



かない はな	かわしま でん
なかむら こうた	ひご きおな
ふくはら あかり	まつもと あやと



赤徳 小学校

あいこう ろく	いけだ えいと	かつしゅんま	ぐいとまん ろい
さわ ひなこ	たかはし こむぎ	たけやま けい	にしより ゆうせい
まき えいた	もりやま くのすけ	やました あやか	



龍郷 小学校

いけやま すずな




秋名 小学校

くすもとかえ しろくゆず
たつみや なみ むらさき つばさ



ピカピカの新一年生

ご入学 おめでとうございます

令和6年度は町内6小学校で66名の子どもたちが新一年生になりました。
お友達をたくさん作り、学校生活を楽しんでください！

掲載写真は各学校からご提供いただきました。
氏名は五十音順に表記しています。写真の位置とは一致していません。



龍瀬 小学校

ありま はる	いぢち ゆい	いわさき ゆいか	おおしげ しずく	くめ ゆいか
さきた なみ	たけだ いっさ	とくなが みはね	なるみ しゅり	ほかぞの あいな
まき さくらこ	ますみつ いっせい	まるやま こうめ		

龍郷町の話題

2月28日 龍郷町高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画を策定



龍郷町では、3年を期間とした「龍郷町高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」を策定しました。策定委員会の長谷場委員長より、基本理念「みんなで支え合い健やかで自分らしい暮らしを選択できるまちづくり」に沿った施策の推進を図るよう竹田町長へ答申を行いました。

3月16-17日 龍郷町青少年ミュージカル「KIKUJIRO」開催



龍郷町名誉町民、西郷菊次郎の半生を描いた龍郷町青少年ミュージカル「KIKUJIRO」がりゅうがく館文化ホールで開催されました。3期目となった今年は、児童・生徒34人が参加。薩摩藩圧政下での愛加那と西郷隆盛の出会いや菊次郎の成長、宜蘭庁長時代の西郷菊次郎の活躍を迫真の演技で披露し、観衆に大きな感動を届けました。

3月24日 「西郷小浜公園」オープン



龍郷町は、西郷隆盛の龍郷での2番目の生活の拠点の地に「西郷小浜公園」を整備しました。公園には、東屋のほか、西郷隆盛、愛加那、菊次郎、菊草の一家4人の銅像も設置されています。イベントなど団体利用の際は申請が必要です。(役場企画観光課 ☎0997-69-4512)

3月24日 令和5年度生涯学習講座 合同閉講式



令和5年度生涯学習講座の合同閉講式が、龍郷町生涯学習センターりゅうがく館にて行われました。来場者には茶道教室からお茶が振舞われ、和やかな雰囲気の中お茶を楽しむ姿が見られました。受講生代表あいさつでは、「奄美のものづくり講座」を受講した平瀬 理恵さんが講師への感謝と、講座を通じた出会いや経験を語りました。式後には講座による舞台発表が行われ、合唱や手話、演奏や舞踊など一年間の活動の成果が披露されました。最後は六調太鼓・三味線教室による六調で締められ、多くの笑顔が見られました。

3月25日 障害者計画・障害福祉計画・子ども療育計画を策定



龍郷町では、障がい者施策に関する新たな計画として、「第4次龍郷町障害者計画」、「龍郷町第7期障害福祉計画・第3期子ども療育計画」を策定しました。引き続き本計画に沿って、障がいのある方も住み慣れた地域で安心して生活し、地域社会に参加できる街づくりを推進します。

3月26日 秋名郵便局で「セパレート型キオスク端末」の運用開始！



秋名郵便局にて「セパレート型キオスク端末」の運用開始セレモニーが行われました。この端末では、マイナンバーカード(暗証番号数字4桁)を使って住民票の写しなどの証明書を取得することができます。龍郷町民であればどなたでも利用可能です。

3月29日 「第2次健康たつごう21」を策定

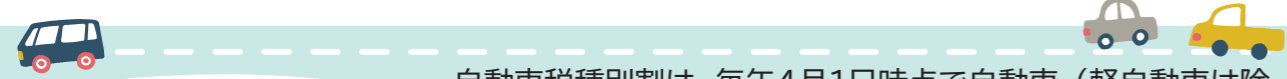


龍郷町では、町民の健康づくりに関する施策として「第2次健康たつごう21(龍郷町健康増進計画)」が策定されました。健康で長生きできることや、地域で行う健康づくりの推進を全体目標に、子どもからご高齢の方まで各ライフステージに応じた健康づくり施策を推進し、「健やかでいきいきと暮らせる龍郷町」をめざします。

4月1日 龍郷町定住支援員に谷 亜矢子さんが着任



龍郷町の定住支援員として、円集落在住の谷 亜矢子さんが着任しました。企画観光課に所属し、自身の移住経験をもとに、役場やたつごう移住ガイドセンター住もうディでの移住相談対応、移住定住施策の企画立案、情報発信等、移住定住施策の促進を図っていきます。



自動車税の納付は
5月31日
までに!

自動車税種別割は、毎年4月1日時点で自動車(軽自動車は除く)を所有している方に納めていただく税金(県税)です。今年は4月26日に納税通知書が発送されます。**納付期限は5月31日**ですので、納め忘れがないようにしましょう!ご不明な点は、鹿児島地域振興局自動車税課(☎099-261-5611)又は、大島支庁県税課(☎0997-57-7225)まで。

龍郷町 議会だより 第202号

令和6年 第1回定例会

一般質問

一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問点をたずねることです。単に疑問を解消し、事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直しや新規政策を提言する議員の重要な活動です。本町議会の質問時間は、1人60分以内となっています。

P7 平岡 馨 議員

- ・人口減少に伴う就業対策及び定住対策について
- ・地域コミュニティの活性化について
- ・社会体育施設の整備について

P8 伊集院 巖 議員

- ・農業振興について
- ・林業振興について
- ・水産業振興について
- ・観光振興について
- ・カイガラムシ対策について

P9 徳永 義郎 議員

- ・循環型社会創りと脱炭素へ向けた地産エネルギーへの可能性について
- ・農業振興と水産業振興について
- ・福祉行政について
- ・鳥獣被害について

P10 久保 誠 議員

- ・福祉行政について
- ・教育行政について
- ・教育民泊事業について
- ・保育事業について

P11 高橋 研太郎 議員

- ・町内への移住者受け入れ体制について
- ・町内木造住宅の耐震診断と住宅リフォームについて
- ・防災・避難所について

P12 長谷場 洋一郎 議員

- ・生活環境課が管理する施設について
- ・大美川の改修工事について
- ・砂防ダムと治山工事について

P13 隈元 巳子 議員

- ・嘉波集落の道路舗装について
- ・秋名巖島神社の裏山の対応について
- ・食育について
- ・花いっぱい運動の推進について

P14 圓山 和昭 議員

- ・町長の政治姿勢について
- ・子育て支援・児童福祉について
- ・移住定住施策について
- ・環境対策、ごみ処理の充実について
- ・第1期龍郷町地域福祉計画について

P15~ 議決結果

※掲載内容については、質問者が質問と答弁を要約し、龍郷町議会広報委員会が編集したものです。



平岡 馨 議員

人口減少に伴う就業対策 及び定住対策について

問 労働力不足は今後の大きな問題になると思うがどの様な就業対策を講じて行くのか。

答(町長) 人口減少による労働力不足は、全国共通の課題であり、今後さらに深刻化することが予想され、今後は官民一体となった取り組みが必要であり、職場環境、労働条件の改善や人材育成、高齢者、外国人の採用など、国や県の支援も活用しながら雇用対策を講じて参りたいと考えている。

問 若者のUターン対策・Uターン者の定住対策は。

答(町長) 今後、重要な移住定住施策の一つであり、Uターン者が安心して働ける雇用の場を創出することが大切で、雇用対策と併せて他の自治体の取り組み事例等



移住者交流イベント

地域コミュニティの 活性化について

問 過疎化や高齢化等で、地域を支える人材が不足し住民同士つながりが希薄になっている中、地域コミュニティの活性化をどの様に推進していくのか。

答(町長) 町内各集落において、人口減少、過疎化や高齢化により従来からのコミュニティが機能低下し、維持、存続が危ぶまれる状況が拡大しており雇用対策、定住対策を含めた一対的な人口減少対策が必要であると考えている。

を参考にしながら対策を講じて参りたいと考えている。



地域コミュニティ

社会体育施設の 整備について

問 総合運動公園整備に向けた現状は。

答(町長) 現在、場内の若手職員7名と教育委員会事務局3名の10名にて「運動公園整備構想ワーキング」を組織し、協議を行っており、整備に向けた現状として、保

具体的には、来年度策定予定の第3期龍郷町創生総合戦略の中で、人口減少の抑制と地域経済の振興に特化した町の将来像をお示しいたと考えている。

健福祉センターの整備が優先との意見が出ており、そのため保健福祉センターの整備計画を注視しながら、現中央グラウンド付近での整備が良いのか、他の場所での整備が良いのか等、議論をしている状況である。

問 野球、サッカー、グラウンドゴルフ場の施設整備は計画されているのか。

答(町長) 整備すべき場所、規模等を議論しているところで、具体的な整備計画を行う段階には至っていない状況であり、今後も継続して協議を行っていくが、既存の社会体育施設の改修も必要となってきたり、整備の優先順位も考慮しながら様々な調査・検討が必要であると考えている。

一般質問は「エフエムたつごう」でお聴きいただけます。

これまで一般質問の内容を、防災行政無線個別受信機にて放送していましたが、現在はエフエムたつごう(78.9MHz)にてライブ放送しています。



伊集院 巖 議員

農業振興について

問 農地利用の姿を明文化化する「地域計画」とはどのようなものか。

答(町長) 地域計画とは、地域での話し合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化し、その実現に向け農地の受け手の確保や農地バンクの活用による農地の集約化を進めるもの。

問 新たに立ち上げる就農支援センターの運用形態は。

答(町長) 将来本町の中核的農家として自立できるような人材の確保・育成を目的に、令和6年度に就農支援センターの立ち上げを考えており、事務局を農林水産課内に置く。

問 堆肥生産施設事業の進捗状況と稼働時期は。

答(町長) 本年度は施設用地の盛土造成を行っており、進捗状況は2月末現在50%となっている。令和7

年度に堆肥生産施設を完成させる予定で、本格稼働時期は令和8年度になる見込みである。

問 多面的機能支払交付金の活用状況は。

答(町長) 現在、秋幾、嘉渡、瀬留の3地区で年間130万円の交付金を活用し、合計37ヘクタールの農地内農道敷の伐採や水路の泥上げ、遊休農地の解消などを行っている。

問 今後の活用は、木材利用の促進を図る費用に充当予定で、畜産の敷料生産に用いる伐採木の運搬費用などに活用したい。

問 地産地消の取り組みは。

答(町長) 地場農産物を活用した学校給食献立の発案及び親子や学校関係者を対象とした食育授業の開催、小中学生向け農業体験を実施し、食育・地産地消の推進について普及啓発を図っている。



町内の子どもたちと農業体験

林業振興について

問 森林環境譲与税の活用状況は。

答(町長) 単年度の譲与額が少額であるため、基金積み立てを行っている。

水産業振興について

問 漁業者担い手育成の具体策は。

答(町長) 漁業者担い手支援事業補助金により支援を行い、独立型は65歳以下の1年以上漁業活動に従事した新規漁業就業者へ1人20万円、60歳以下の常時従業員を雇用し継続して漁業活動を行う経営者に対して1人20万円を支給する。

問 漁業者がより活躍できる事業とは。

答(町長) 龍郷町水産振興計画を令和元年度に策定し、その基本的な方針に沿って水産振興を図っているところ。しかしながら、水産振興策の柱である離島漁業再生支援交付金事業の漁業集落活動が休止し、水産振興計画による水産業のあるべき姿の実現が難しい状況である。

観光振興について

問 「2つの海が見える丘」加世間峠の整備時期は。

編成は。

答(町長) 子ども家庭センターは(子育て世代包括支援センター・子ども家庭総合支援拠点)この2つの機能を合わせ持つ、母子保健と児童福祉の両機能が一体的に相談支援を行う機関です。子ども子育て支援パッケージの予算編成は、0歳から2歳までの保育料の更なる軽減465万円、3歳児以上の副食費及び主食費の無償化767万円、公立保育所の保護者会費無償化63万円、増額された出産祝い金550万円、銀のさじプレゼント事業として50万円計上。

問 新規事業の宿泊型産後ケア・子育て世帯訪問支援・親子関係形成支援事業の内容は。

答(町長) 宿泊型産後ケア事業とは、産後1年未満の母子を対象に受入施設に宿泊しながら、産後の体調管理や授乳、沐浴など育児について相談出来る事業、子育て世帯訪問支援事業は、子育て等に不安や負担を抱える家庭に、支援員(ホームヘルパー等)が訪問し、家事や子育て支援を実施する事業、親子関係形成支援事業は、児童との関わり方や子育てに、不安や悩みを抱えた保護者が、児童の発達などに応じた関わりを身に着けるため、グループワークやロールプレイを内容とした、ペアレント・トレーニングなどを受けられる事業です。少子化対策として、若い世代の定住促進を図るための「龍郷町結婚活動支援事業・結婚新生活支援事業」を実施している。子育て世代の経済的支援として、出産祝い金の増額、保育料などの更なる負担軽減を図っていく。

鳥獣被害について

問 現在まで町が把握しているイノシシの被害状況や今後の対策と、鳥類(カラス等)の被害状況は。

答(町長) 金網防護柵の購入助成によるイノシシを「寄せ付けない」、駆除による買い上げを行い「個体を減らす」取り組み、畑の見回りや周辺の草刈り、残さの撤去などイノシシを「寄せ付けない」啓蒙活動も推進していく。鳥類(カラス等)の被害状況は、特にない。



徳永 義郎 議員

循環型社会創りと脱炭素へ向けた地産エネルギーへの可能性について

問 地域資源による水力発電や再生可能エネルギーへの本町の考えは。

答(町長) エネルギー需要、及び温室効果ガス排出量並びに将来推計を踏まえ再生可能エネルギーの導入のポテンシャル等の調査・分析を行い、本町の身の丈にあった脱炭素への取り組みや地産エネルギーへの可能性を考えていく。

問 焼酎かす等のバイオマス発電の可能性は。

答(町長) 現在計画の焼酎粕単独、年間2,000トンの処理量では、ガス発生量や売電収入が小さく、年間の収支を黒字化するのには難しいと推定される。

福祉行政について

問 子育て・児童福祉支援で令和6年4月より設置される「龍郷町子ども家庭センター」の内容と龍郷町子ども子育て支援パッケージの予算



久保 誠 議員

福祉行政について

問 健康づくり・介護予防の推進、地域サロン教室、OB教室の現状と課題は。

答(町長) 地域サロンや体操教室は、令和6年3月現在、どうくさ会が15ヶ所、楽しく体操教室が14ヶ所に実施され、地域の公民館において、各集落の世話焼きさんが中心となって住民主体で活動している。OB教室(短期集中教室後のフォロー教室)は、週1回りゆうがく館にて「でいでいクラブ」を実施し、筋力低下・運動機能低下が見られる方への各種体操に取り組んでいる。課題として、コロナ禍を経て活動が低下した地域、地域サロンへの移行が困難な方もみられるが、予防への効果や活動内容の充実など活性化に努めている。

者無料バス助成事業の現状と課題は。

答(町長) 高齢者無料バスの申請者は、417名、令和5年1月の利用者数は、49名。また、65歳から70歳の方で運転免許証を返納して申請している方は、令和3年度、4年度ともに各1名となっている。バス路線がない集落、家からバス停が遠く利用しづらい点など課題がある。

和5年度末までの奨学資金貸付実績として、貸付者数46名、貸付額3千9万9千1百円、令和6年度の新規貸付者予定数は12名、貸付額8百28万円です。

問 償還の現状は。

答(教育長) 46名中22名が償還を開始している。

問 教育支援センターにおける授業の現状は。

答(教育長) 支援センターでの活動は、児童生徒同士で自主学習を進めているが、受験対策として週1回理科・数学を教えるボランティアが学習の支援を行っているほか、調理実習や七夕の飾り付け、映画鑑賞、スポーツなどを通してお互いの交流や、保護者との連携を深めるための親の会の活動も実施している。

教育民泊事業について

問 教育民泊事業の現状と課題は。

答(町長) 教育民泊は、令和4年7月に「龍郷町教育民泊実行委員会」を設立し、これまでにセミナーや2度の先進地視察を実施するなど、令和6年度からの事業開始に向けた準備を進めている。



町内の子どもたちが教育民泊を体験

保育事業について

問 保育事業(待機児童の現状)は。

答(町長) 平成27年度以降、待機児童はいません。



高橋 研太郎 議員

町内への移住者受け入れ体制について

問 県外・町外からの移住希望者が抱える課題を把握されているか。

答(町長) 令和4年度に「移住ガイドセンター住もうデイ」に寄せられた相談内容のほとんどは、家探し・仕事・人間関係などで、昨年、実施した移住者懇談会の中でも、移住する前の課題として、同様のご意見を伺っている。今後地域おこし協力隊を中心に、ミスマッチのない移住に向けて、きめ細かな相談対応に心がけたいと考えている。

問 移住者への住宅提供実績は。

答(町長) 令和4年度の移住実績として、34世帯、47名が本町に移住し、このうち「住もうデイ」を介して、住居を決定した世帯は

6世帯しかなく、相談を受けても案内する住居がないといった状況が続いている。

町内木造住宅の耐震診断と住宅リフォームについて

問 木造住宅の耐震化率を把握されているか。

答(町長) 建築物は、耐震改修促進法(平成7年)の改正に基づき、町としても平成26年度に耐震改修促進計画の策定を行い、今年度改めてその見直しの策定を行った。木造住宅の耐震化率は、木造民間住宅2,958戸のうち新耐震基準(昭和56年6月1日以降)を満たしている耐震性ありとなっている住宅は1,689戸、耐震化率は57.1%です。

問 木造家屋の耐震診断補助金及び耐震改修補助金の交付実績は。

答(町長) 耐震改修促進計画策定に基づき、木造住宅の地震に対する安全性の向上を図るため、木造住宅の耐震診断及び耐震改修工事を行う方に対し、補助金の交付要領を定めている。費用は、耐震

診断では、診断費用の上限6万円、改修工事では、上限30万円となっているが、交付実績がない状況である。

問 龍郷町住宅リフォーム等経済対策事業補助金の交付実績は。

答(町長) 住宅リフォーム等経済対策事業補助金は、居住環境の向上と住宅投資の波及効果による地域経済の活性化を目的として、平成27年度の単年度のみ事業で、19名の方に対し、10万円を上限として、総額175万8千円の補助金を交付しました。

防災・避難所について

問 防災無線の切り替え状況は。

答(町長) 令和5年度から、龍郷町防災行政無線整備工事として整備を進め、本年度は、荒波地区の秋名から久場集落の整備を実施中。6年度は、瀬留・玉里・浦中・大勝・川内・屋入、7年度は、中勝・戸口・赤尾木・手広・芦徳集落を計画している。

問 防災訓練の実施状況は。



戸口地区での避難訓練の様子

答(町長) 令和2年度龍郷集落、3年度赤尾木地区、4年度荒場地地区、5年度戸口地区で自衛隊・警察・消防の協力をいただきながら訓練を行い、6年度は、大勝・中勝地区、7年度は、浦・瀬留地区を計画しているところで、大地震による津波を想定した避難・救助訓練をメインとしている。

問 各避難所での浴室設置計画は。

答(町長) 避難所の浴室設置は、現在シャワー室を完備しているのは、秋名集会場・浦生活館・赤尾木公民館・りゅうがく館・龍南中学校体育館、建設中の安木屋場公民館です。計画としては、施設の建て替えや新築、改修の際にシャワー室を設置したい。



長谷場 洋一郎 議員

生活環境課が管理する施設について

問 管理する施設はどのようなものがあるか。

答(町長) 水道施設として、秋名、円、龍郷、龍南、大勝、中勝、浦、赤尾木、芦徳の計9つの浄水施設、及びそれぞれの配水池、ポンプ場を管理している。

問 直近の町内での水道使用量は。

答(生活環境課長) 1日平均2千3百リットル、年間約84万リットル使用している。

問 配管設備の耐震基準はクリアしているか。

答(生活環境課長) 基幹水道の耐震割合は、国で41・2%だが本町は100%基準を満たしている。

問 浄水場設備管理の内容は。

答(生活環境課長) 水道担当者1名と委託業者2名で各施設の点検管理を行っている。タンク洗浄は年1



中勝浄水場

回、機械類の点検は毎日行っている。

問 薬品と鍵の保管方法は。

答(生活環境課長) 凝集剤等の薬品は赤尾木地区の浄水場で保管しており、鍵は担当職員と業者が、それぞれ保管している。

問 停電時の発電機は完備されているか。

答(生活環境課長) 大勝、浦、瀬留、龍郷の浄水場は、大雨時にはリープスで対応し、それ以外の浄水場は完備している。

問 社会科実習で町内の浄水場見学は考えてないか。

答(教育委員会局長) 各学校で計画実施しているので、学校の方へ提案して検討してもらおう。

問 災害時の飲料水の確保は。

答(町長) 給水タンクを1,000

大美川の改修工事について

リットルが2個、500リットルが1個、500リットル未満のタンクを3個確保しているが、今後、ケイタイ型給水タンクを100個購入予定である。

問 飲料水確保のため自衛隊との訓練はできないか。

答(総務課長) 関係各位と飲料水確保のシミュレーションを検討したい。

問 大美川改修工事の進捗状況は。

答(町長) 令和5年度工事で、国道58号より上流側、約500メートル地点までの河道拡幅等を終えた。

柳田橋については、下部工の工事は終了し、来年度に上部工が完了する予定。

問 大勝橋上流の護岸工事は。

答(建設課長) 護岸工事を新規に計画しており、住民が懸念している堤防の決壊を防ぐ設計で、井堰(いせき)も撤去する計画である。

問 岡一族墓地までの河道拡幅工事を県に要望できないか。

答(建設課長) 県が測量設計実施



改修中の大美川

中で、岡一族墓地の情報をも提供し、管理道路としての要望ができないか検討する。

砂防ダムと治山工事について

問 川内下山田地区砂防ダムの進捗状況は。

答(町長) 令和3年度から工事着工しており、現在、本堤(ほんてい)堰堤(えんてい)工事を実施中で、今後の予定として、副堤堰堤(ふくていえんてい)、取付け水路工事等を計画している。

問 川内下山田地区治山工事の進捗状況は。

答(町長) 工事の進捗率は2月末現在27・3%で、令和6年7月の完成を見込んでいる。

秋名厳島神社の裏山の対応について

問 以前質問した際には、早急な対策をとるとの答弁でしたが、その後の進捗状況は。

答(町長) 砂防事業の導入が可能か大島支庁建設課と協議を続けながら、林務水産課による治山事業の導入も検討している。治山事業を導入する際には、一部保安林指定や、施工する場合は地権者全員の同意が必要となることから、引き続き、各事業において事業実施に向けた取り組みを進めていく。



厳島神社と裏山

食育について

問 オーガニック給食の提供は。

答(教育長) 給食センターでは、

約720人分の給食を提供しており、食材の量の確保が重要である。また、食材も当日納品、当日処理が基本であり、品質や大きさも重要であるため、オーガニック給食の提供は、生産量や規格など安定した給食提供を行うために必要な食材の量の確保ができないことから、現時点では難しい状況である。

問 有機野菜の栽培普及と活用は。

答(町長) 有機農産物の定義は、原則農薬不使用、かつ禁止されている化学肥料を使用しないで栽培されたことを農林水産大臣から認可を受けた登録認定機関が認められた農産物となっており、「有機野菜」、「有機農産物」と表示するには「有機JAS認証」を取得しなければならぬ。本町では、適正な肥培管理や農業使用を基本とする慣行栽培による農業経営が主流となっており、県が推奨している生産工程管理「K-GAP」の認証取得を目指し、安心安全な農林水産物の生産を推進している。

問 給食献立にどのような地場産を活用しているのか。

答(教育長) 給食献立での地場産活用については、町内産のものとして、「パイヤ、大根、冬瓜、マコモ、かぼちゃ」などを使用している。給食センターの基本方針として、町内地場農林水産物の活用を掲げていますので、今後もできる限り地場産食材を活用した給食提供に努めます。

花いっぱい運動の推進について

問 世界自然遺産登録後、観光客も増えてきている中、本町のPRも含め、公共施設等での花いっぱい運動は展開できないか。

答(町長) 現在、島育ち産業館やりゅうがく館など、一部の施設では花壇の手入れ作業を行っている状況。今後は、そのほかの公共施設でも、このような取り組みができないか、施設管理の担当課、関係機関と協議して参ります。



嘉渡2号線



隈元 己子 議員

嘉渡集落の道路舗装について

問 嘉渡2号線の整備計画は。

答(町長) 生活館前から「龍郷町大島紬織工養成所」までの約280メートルの区間は、排水施設もなく、路面が悪いということで、集落より整備要望を受けています。今後、令和8年度より起債を活用した整備を予定している。



丸山 和昭 議員

町長の政治姿勢について

問 新年度及び町制施行50周年に向けた意気込みは。

答(町長) 町民の皆様の声をしっかり受け止め、各種事業へ展開を行い「住んでみたい」「住んで良かった」と実感できるまちづくりを進めていく。

令和7年2月16日に記念事業を実施する計画であり、全課長による検討会を数回開催した。各種イベント等においては、町制施行50周年の冠を掲げ、町民や郷友会、関係機関と一体となって機運を盛り上げたいと思っている。「昇り龍」の如く、本町が飛躍する年となるよう施策を展開していきたいと考えている。

子育て支援・児童福祉について

問 母子保健と児童福祉機能による

一体的支援の具体的施策の内容は。

答(町長) 4月から配置される統括支援員が合同ケース会議を開催し、関係職員全員でサポートプランを作成し、これに基づき母子保健機能・児童福祉機能としてのサポートを一体的に行います。

問 政策立案過程における保護者や関係機関への基礎調査の意義と、町民ニーズに沿った事業計画の在り方とは。

答(町長) 町民が真に必要なとする事業を実施するために、しっかりとした基礎調査を行い、課題の抽出や必要量の見込み、前期計画の評価と検証、既存資料の分析をしつかりと行い策定すべきと考えている。

移住定住施策について

問 新たな奄振法のもと、移住促進についての具体的施策の内容と課題は。

答(町長) 空き家の改修による移住促進住宅の整備等を支援できることとなり、本町が実施してい

る「移住定住・住宅リフォーム等補助金」に活用する予定。制度拡充により今後は更に同補助金の予算枠を増やし、移住及び定住促進の課題となっていた住居の確保を図り、併せて地域課題である空き家対策・空き家流通に繋げていきたいと考えている。

環境対策、ごみ処理の充実について

問 ごみの分別徹底と減量化及び資源化を推進していく具体的施策の内容と課題は。

答(町長) 古紙、段ボール等の個人による焼却処分を防ぐことにより、脱炭素CO2排出削減を図っていく。ゴミの分別と減量化については名瀬クリーンセンター家庭ごみ分別の手引や広報等を通して周知徹底し、資源化については4R運動を推進していく。

問 昨今、家庭から出る資源ごみの量に変化が見られる。ごみを減らす努力と共に資源ごみの回収を月1回から複数回に増やして環境対策のさらなる充実を図れないか。

答(生活環境課長) 前向きに検討していく。

第1期龍郷町地域福祉計画について

問 昨年度策定した第1期龍郷町地域福祉計画内にある再犯防止推進計画の策定意義は。

答(町長) 市町村が再犯防止計画を策定するのは努力事項となっているが、地域社会で生活する対象者等に対する支援にあたっては、市町村の役割が極めて重要であることから、令和5年3月に「第1期龍郷町地域福祉計画・地域福祉活動計画」内に策定をした。

問 本町の再犯防止への取り組み状況は。

答(町長) 鹿児島保護観察所、北大島保護区保護司会龍郷支部の活動支援を行っているが、対象者に対して支援が必要な場合は計画に基づき実施していく。

あなたも議会を傍聴してみませんか？

次の定例会は6月を予定しています。場所：龍郷町役場2F

経済建設常任委員会 政務調査報告

(3月定例会報告抜粋)

名瀬クリーンセンターの更新時期に当たり、構成市町村でもある本町も今後の更新施設の在り方を調査・研究するため、ふじみ野市・さいたま市にあるゴミ処理施設での熱回収及び余熱利用とリサイクル施設を視察

【日程】令和6年2月6日～2月9日

【調査場所】埼玉県ふじみ野市・三芳町環境センター・埼玉県さいたま市桜環境センター

【両施設の特徴】

- ・DOB方式（公共が資金調達し、公共が所有権を有したまま、施設の設計・建設・維持管理及び運営等を民間事業者にも包括的に委託する方式）で運営。
- ・小学生等を対象に環境授業を取り入れて資源の大切さを学ぶ場。
- ・熱エネルギーを利用した施設の電気料を無料での運営や、年間1億円ほどの売電ができています。
- ・熱エネルギーを活用して、子どもから高齢者までが楽しむ場や、年齢性別を問わず多くの人利用できる空間を創造し、多世代かつ多目的の交流による地域への還元を行っている。



今回の議員派遣による視察は、名瀬クリーンセンターの更新時期を迎え、構成市町村である本町も今後の更新施設への在り方を調査研究する目的として、両施設を視察し、環境保全対策、ごみの適正処理と施設の安全稼働、環境型社会の構築など、当委員会として勉強していく良い機会となった。

議決結果

第1回臨時会ではこんなことが決まりました

議案番号	議案の件名	議決結果	
第1号	龍郷町手数料条例の一部を改正する条例 マイナンバー制度の活用により電子証明書提供用識別符号の発行に係る手数料を徴収するための一部改正	原案可決	全会一致
第2号	令和5年度 龍郷町一般会計補正予算（第5号） 6,149万8千円補正増額し、総額71億9,194万5千円としました。 新型コロナウイルス感染症対策・物価高騰対応重点支援交付金事業費など	原案可決	全会一致
第3号	令和5年度 龍郷町防災行政無線整備工事請負変更契約の締結 秋名から久場間の再送信局新設の見直しによる当初契約金額の変更減	原案可決	全会一致
第4号	令和5年度 海岸施設保全工事（玉里地区海岸）1工区請負変更契約の締結 事業進捗を図るため、施工区間の延長	原案可決	全会一致
第5号	令和5年度 安木屋場公民館新築本体工事請負契約の締結 老朽化した安木屋場公民館の建替え	原案可決	全会一致

第2回臨時会ではこんなことが決まりました

議案番号	議案の件名	議決結果	
同意1号	龍郷町教育委員会委員の任命 隈元 康子氏（再任）	原案可決	全会一致

※ Refuse (リフューズ): 不要なものは買わない、Reduce (リデュース): ごみの量を減らす・なるべく出さない、Reuse (リユース): 物を修理する、Recycle (リサイクル): 資源として再利用する

新一年生

トピックス

議会だより

各種
予防接種

肝炎ウイルス
無料検査

パーキンソン病
友の会

軽自動車税
障害減免

タンカン等
苗木助成

犬の登録及び
狂犬病予防

来庁アルバム

町のうごき

りゅうがく館

新一年生

トピックス

議会だより

各種
予防接種

肝炎ウイルス
無料検査

パーキンソン病
友の会

軽自動車税
障害減免

タンカン等
苗木助成

犬の登録及び
狂犬病予防

来庁アルバム

町のうごき

りゅうがく館

3月定例会ではこんなことが決まりました

議案番号	議案の件名	議決結果	
第6号	町長等の給与の特例に関する条例を廃止する条例 平成16年度から継続している、町長等（町長・副町長・教育長）の給与10%減額を、近隣自治体の特別職の状況・一般職の給与の引き上げ状況等勘案し、令和6年度からこの条例を廃止する。	原案可決	全会一致
第7号	龍郷町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 法の改正により、会計年度任用職員への勤勉手当を支給するための条例改正	原案可決	全会一致
第8号	龍郷町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 法の改正により、基準の一部を条例改正する。	原案可決	全会一致
第9号	龍郷町ひとり親家庭医療費助成条例の一部を改正する条例 配偶者からの暴力の防止・被害者の保護等に関する法律の一部が改正されたことに伴う条例改正	原案可決	全会一致
第10号	龍郷町重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例 支給方式を、自動償還払い方式も可能になるなど、所要の規定を改正	原案可決	全会一致
第11号	龍郷町介護保険条例の一部を改正する条例 第9期介護保険事業計画に基づき、令和6年度から8年度までの介護保険料を所得段階に応じた条例の一部改正	原案可決	全会一致
第12号	西郷小浜公園設置及び管理に関する条例の制定 完成した西郷小浜公園に関する条例の制定	原案可決	全会一致
第13号	龍郷町中小企業・小規模企業振興基本条例の制定 町内の事務所・事業所・商工会の成長・持続的発展及び経済の活性化を図り、町民の生活向上に寄与することを目的に条例の制定	原案可決	全会一致
第14号	龍郷町立荒波龍美館指定管理者の指定 一般社団法人イモーレ秋名との協定が、令和6年3月31日で期限を迎えることから引き続き令和9年3月31日まで指定管理者として指定する	原案可決	全会一致
第15号	龍郷町水道事業給水条例の一部を改正する条例 水道法等による改正に伴い、これに準じて所要の一部改正	原案可決	全会一致
第16号	龍郷町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例 同上	原案可決	全会一致
第17号	令和5年度龍郷町一般会計補正予算（第6号） 1,347万8千円増額し、総額72億542万3千円としました。自立支援医療費・保育所等給付費・りゅうゆう館電気料負担金などを増額し、後期高齢者医療保険基盤安定繰入金・地籍調査業務委託料の減額など	原案可決	全会一致
第18号	令和5年度龍郷町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号） 43万8千円減額し、1億745万3千円としました。後期高齢者医療保険料280万2千円増額、保険基盤安定繰入金324万円減額	原案可決	全会一致
第19号	令和5年度龍郷町介護保険事業特別会計補正予算（第3号） 719万8千円増額し、8億517万8千円としました。介護・支援サービス費等増額	原案可決	全会一致
第20号	令和6年度龍郷町一般会計予算 対前年度比2.5%増の67億7,669万2千円としました。新規事業・継続事業を実施しながら、「住んでみたい」「住んで良かった」と実感できるまちづくりを進めていく。	原案可決	全会一致
第21号	令和6年度龍郷町国民健康保険事業勘定特別会計予算 対前年度比2.7%減の8億215万9千円としました。	原案可決	全会一致
第22号	令和6年度龍郷町後期高齢者医療特別会計予算 対前年度比84.9%増の1億9,843万5千円としました。	原案可決	全会一致
第23号	令和6年度龍郷町介護保険事業特別会計予算 対前年度比6.1%増の8億674万7千円としました。	原案可決	全会一致
第24号	令和6年度龍郷町水道事業会計予算 1.収益的収入344,457千円（対前年度比1,730千円増）2.収益的支出273,458千円（対前年度比6,166千円増）3.資本的収入20,000千円（対前年度比20,000千円増）4.資本的支出185,872千円（対前年度比33,307千円増）	原案可決	全会一致
第25号	令和6年度龍郷町下水道事業会計予算 1.収益的収入158,120千円（対前年度比10,109千円増）2.収益的支出152,829千円（対前年度比7,028千円増）3.資本的収入51,303千円（対前年度比7,680千円減）4.資本的支出81,595千円（対前年度比2,032千円減）	原案可決	全会一致

各種予防接種について

問 子ども子育て応援課
☎ 0997-69-4555

子宮頸がん予防(HPV)ワクチン
キャッチアップ接種について

令和7年3月31日(月)まで公費で接種することが出来ます。接種は3回で、完了するまでに約6か月間かかります。接種される方は、令和6年9月までに1回目接種をお願いします。

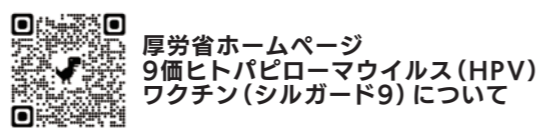
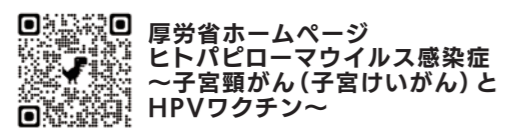
定期接種対象者：
平成19年4月2日～平成24年4月1日生まれ
(小学校6年生から高校1年生相当の女子)

キャッチアップ対象者：
平成9年4月2日～平成19年4月1日生まれ
(積極的勧奨が控えられていた年代である、高校2年生相当年齢から26歳の女性)

5種混合ワクチン※接種が
開始になります

令和6年4月から、5種混合予防接種が開始になります。原則として、4種混合ワクチン、ヒブワクチン接種を受けていないお子さんが対象になります。すでに接種を開始した場合は同じワクチンで残りを接種します。5種混合ワクチンでの予防接種を希望される方は、予診票の発行が必要ですので、子ども子育て応援課までお問い合わせください。

※5種混合ワクチンとは
4種混合ワクチン(百日咳・破傷風・ジフテリア・ポリオ)にヒブワクチン(インフルエンザ菌)が加わったワクチンになります。



「肝炎ウイルス無料検査」受けませんか？

問 県庁感染症対策課
☎ 099-286-2724

肝炎とは肝臓が炎症を起こし、肝細胞が壊れて働きが悪くなる病気です。肝炎ウイルスが体内にいても症状がないことから、多くの人々が感染していても気づきません。感染に気づかないまま放置すると、知らない間に病気が進展し、肝硬変や肝がんなどに悪化する恐れがあります。これまで検査を受けていない方は、保健所や県と契約を結んだ医療機関において、無料で検査を実施しています。

対象者：
これまでに肝炎ウイルス検査を受けたことのない方。
実施場所：
【名瀬保健所】0997-52-5411(予約制)
※匿名で受けることができます。
【一部の医療機関】
※実施医療機関等の詳細は、県ホームページを御確認ください。(予約制)

鹿児島県ホームページ
B型・C型肝炎
ウイルス無料検査を
受けましょう！



全国パーキンソン病友の会 交流会開催

問 全国パーキンソン病友の会
✉ amami.jpda@gmail.com

講師として、株式会社和月の統括マネージャー白浜幸高さんにご協力を頂き、パーキンソン病向けの「自宅でできるリハビリ」を交流会で教えていただきます。パーキンソン病・パーキンソン症状の方、ご家族や介護者の方、情報を共有し一緒に活動しましょう！鹿児島県支部奄美地区を春から立ち上げ活動していきます！！(代表：榮 昌晃)

日 時：令和6年6月2日(日)
14:00～15:30
場 所：アマホームPLAZA
(奄美市市民交流センター)
3階 中多目的室
奄美市名瀬柳町2-1
☎ 0997-52-1816
参加費：無料



軽自動車税の障害減免をされる方へ申請のお願い

問 町民税務課 軽自動車税係
☎ 0997-69-4513

軽自動車税の障害減免をされる方は令和6年5月30日(木)までに町民税務課で申請をお願いします。以下の障害者手帳の交付を受けている方は、障害の程度によって軽自動車税の減免がなされません。詳しい障害の区分、障害の程度は、一緒にお配りしている別紙をご覧ください。

対象の障害者手帳：
●身体障害者手帳
●療育手帳
●精神障害者保険福祉手帳
※申請にあたって必要な書類やご不明な点等は軽自動車税係まで問合せ下さい。



苗木助成について

問 農林水産課
☎ 0997-69-4524

タンカン、スモモ、津之輝、マンゴアの苗木助成を行います。受付は農林水産課窓口にて、令和6年5月7日(火)～5月24日(金)まで。購入可能な苗木の本数には限りがありますので、印鑑をご持参のうえお早めに申込下さい。

農家区分	認定農家/果樹部会員	
助成割合	2分の1	
助成上限額	5万円	
購入本数	新植	タンカン・津之輝25本～・スモモ15本～・マンゴー6本～
	改植	タンカン・スモモ・津之輝10本～・マンゴー6本～



令和6年度 第1回犬の登録及び巡回狂犬病予防注射について

問 生活環境課
☎ 0997-69-4525



犬を飼ったら登録と狂犬病予防注射が必要です。令和6年5月25日(土)、26日(日)に各地区にて登録、予防接種を受け付けます。時間、会場はQRコードからご覧ください。
注射料金+注射済票交付手数料：3,400円(1頭あたり)
新規登録手数料：3,000円(転入した際の変更届は無料)
※犬の転居・譲渡・死亡など登録事項に変更がある場合は、役場への届出が必要です。



日程表はこちら



聖隷福祉事業団 一般社団法人プレス浜松ご一行様



JAL 奄美営業所 ふるさとアンバサダー 前任 持木絹代さん(左)、新任 川澄紘子さん(右)

3月届出

ご冥福をお祈りいたします	中原 栄志郎	70	芦徳	お誕生おめでとうございます		
松村 智行	51	玉里	徳永 重信	84	芦徳	
川上 嘉明	82	中戸口	松村 ハスゴ	94	浦(愛寿園)	
重 輝明	49	中勝	荒田 義雄	85	幾里	
			漆島 ゆづき	悠月	(保) 靖明・奈月	大勝
			屋宮 郁紘	いと	(保) 俊介・まりん	瀬留

(保)：保護者

我が家のアイドル★笑顔が可愛いももちゃんです！

満1歳になりました。この子たちに誇れる町をみんなでつくみましょう。

わきゃンマの玉黄金

4 April Happy Birthday

食べるのだーいすき にいにだーいすき

寶納 もも桃々ちゃん
赤尾木 父久 母知里

小久保 とき翔樹くん
赤尾木 父浩樹 母虹歩

ねえねとまんまだいすき

オヤジの雷は効きません！

すみは 維葉ちゃん
大勝 父修平 母未沙

りずな 莉珠愛ちゃん
屋入 父誠 母瑞穂



りゅうがく館 5月号

だより

新着図書案内

●一般書●

- 『おうちで「給食」ベストレシピ』 kids_cooking/宝島社
- 『はじめての盆栽づくり』 松井 孝/主婦の友社
- 『サクサクと読み解く地域経済の動どころ』 緒方 哲/鉦脈社
- 『リカバリー・カバヒコ』 青山 美智子/光文社
- 『ピブリア古書堂の事件手帖4』 三上 延/KADOKAWA
- 『現代民俗学入門』 島村 恭則/創元社
- 『ぼくのママはプロサッカー選手』 岩清水 梓/小学館クリエイティブ
- 『はじめての新NISA & iDeCo』 頼藤 太希/成美堂出版
- 『株式会社の設立と運営が1冊でわかる本』 横須賀 輝尚/技術評論社
- 『日本初の女性裁判所長 三淵嘉子』 平凡社
- 『BLANK PAGE』 内田 也哉子/文藝春秋
- 『奄美の森・生き物図鑑』 山口 喜盛/南方新社
- 『奄美でハブを40年研究してきました。』 服部 正策/新潮社
- 『奄美雑話 地理学の目で群島を見る』 須山 聡/海青社

●児童書●

- 『子どもがつくれるプレゼント菓子』 柴田書店
- 『オニガシマラソン』 トロル/教育画劇
- 『ありえない』 内田 麟太郎/ハッピーオウル社
- 『飛行機の学校』 今野 友和/ニュートンプレス
- 『「ぼくら」シリーズ』 宗田 理/ポプラ社
- 『だんだんできてくる 遊園地』 フレーベル館
- 『楽しく学べる歴史図鑑』 山田 康弘/スタジオタッククリエイティブ
- 『もやもやすっきり！10歳からのこころケア』 横山 恭子/くもん出版
- 『とんとんももんちゃん』 とよた かずひこ/童心社
- 『はじめての子どもパン教室』 吉永 麻衣子/主婦の友社
- 『早口ことばえほん』 おおたに けんた/文響社
- 『こっちをみてる。』 となり そうしち/岩崎書店
- 『つちたち』 ミロコマチコ/Gakken

他

問 生涯学習センター りゅうがく館 事務室 ☎(62)3110

令和6年4月号7ページ「龍郷町老人クラブ連合会会員募集」の記事中、手広高齢者クラブにここに会会の会長名に誤りがありました。正しくは「牧智登美」氏です。お詫びして訂正いたします。

